

4.3 新聞の4コマ漫画にも出た「ハワイ日本に接近中」

河野宣之

1984年7月から日本の鹿島を含む太平洋域やヨーロッパも入って国際 VLBI 観測が開始されました。開始から1年余後に、この間で測られた太平洋域の鹿島を含む4つの VLBI 局間の距離と1年間の距離変化率が日米で発表され、日本では電波研から発表されました。この日は奇しくも、2年前に最初に日米システム互換性確認実験が実施された丁度同じ日の1985年11月5日でした。距離の誤差は1cm~3cmで、なんと太平洋に浮かぶ島ハワイやマーシャル諸島のクワジェリン島が日本方向に1年に4~8cmの割合で近づいていると言うのです。多くの新聞やTV ラジオがこの驚くべき結果を大きく報道しました。発表翌日の11月6日の朝日新聞の記事として、日米の科学協力で達成されたこの快挙は1面を飾りました。その2日後の8日に4コマ漫画の“アサッテ君”にハワイが日本に近づいていることが取り上げられました。作者の園山俊二さんもハワイ接近の結果に驚きをもって接したに違いありません。

世界の多くの人々がこの成果を目にしたと思われませんが、この成果は測定技術において極めて高い精度を達成したことだけでなく、科学的にも大きな成果になりました。つまり、プレート運動を直接測って、古代から延々と今も間違いなく継続されていて、ウエゲナーの大陸移動説を実証したことになります。この成果はその後の地球物理学に大きな変化をもたらしました。